Rotary 週　報　THE ROTARY CLUB OF ARIDA

No.2963

有田

島 海碩 書

2020-2021年度
会　長　橋爪　誠治
幹　事　井上　修平
R広報委員長　菅原　佳典

第2640地区
例会日　毎週木曜日 12:30
例会場　紀州有田商工会議所6F
事務所　〒649-0304
有田市箕島33-1
紀州有田商工会議所2F
有田ロータリークラブ
Tel (0737) 82-3128
Fax (0737) 82-1020
創 立　昭和34年6月15日
ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ http://www.aridarc.jp
e-mail　office@aridarc.jp

～ 四つのテスト　言行はこれに照らしてから ～

1．真実かどうか　2．みんなに公平か　3．好意と友情を深めるか　4．みんなのためになるかどうか

Rotary ロータリーは機会の扉を開く

2020-2021年度クラブ方針
自制心と結束力を繋ぐ理解のハーモニー
「学ぶLearning・感じFeeling・動くMoving」

本日のプログラム

令和３年２月２５日　第２９６４回
・会員卓話：成川　守彦　君
「私の国際奉仕（里親）」
・ソング：「四つのテスト」

次回のお知らせ

令和３年３月４日　第２９６５回
・会員卓話：丸山　芳孝　君
「未定」
・ソング：「君が代」「奉仕の理想」

前回の報告（第２９６３回例会）

開催日　令和3年2月18日(木)

点　鐘　〔橋爪(誠)君〕

ゲストの紹介　〔川口親睦活動委員長〕
ゲスト:任　泰然　君(米山奨学生)

米山奨学金授与

橋爪（誠）会長より
任泰然君に
2月の米山奨学金が授与されました。

PHF表彰　〔木本R財団委員長〕

橋爪誠治君にポールハリスフェローの表彰状と認証ピンが届きましたので、木本R財団委員長から授与されました。

ニコニコ箱の報告　〔北畑副SAA〕
橋爪(誠)君:任泰然君お久しぶりです。今回の例会を入れてラスト2回ですね。コロナの影響でお酒一緒に飲めていませんが、次の拠点立命館大学のある京都でコロナ終息後ゆっくり飲みましょう！会員の皆様もお久しぶりです。徐々にですが通常例会に戻す努力をしてまいります。もう少しのご辛抱を！
井上君:2ヵ月ぶりの例会場です。北畑君、本日の卓話よろしくお願いします。
上野山(捷)君:北畑君、本日の卓話よろしくお願いします。
橋爪(正)君:他の会議の為、早退させていただきます。
脇村君:皆さん、ご無沙汰しております。お元気で何よりです。
岩本君:久しぶりの例会楽しみにしています。
松村君:北畑さん、卓話楽しみにしています。
中元君:北畑さん、本日の卓話よろしくお願いします。任君、ようこそ有田RCへ。
川口君:本日の会員卓話、北畑貴行君、宜しくお願い致します。
木本君:北畑貴行君、本日の卓話宜しくお願い致します。
丸山君:北畑さん、卓話楽しみです。母の葬儀では、お手伝い、ご参列どうもありがとうございました。改めて、ロータリー会員との絆を感じました。これからもよろしくお願いします。
辻君:本日の北畑さんの卓話楽しみにさせていただきます。頑張ってください。
北畑君:本日、卓話させていただきます。勉強不足ではありますが、よろしくお願いします。

出席報告　〔木本例会運営委員〕
本日の会員数29名
(出席規定免除会員9名)
出席会員数25名
(出席規定免除会員8名)

会長の時間 〔橋爪(誠)会長〕

「教える」と「学び」

先週土曜日、福島県・宮城県に震度6強の地震が起こりました。被害にあわれた方々にお見舞い申し上げます。平穏な日常に一日も早く復旧出来ることをお祈りいたします。2640地区からの義捐金の協力要請がある場合は、直ちに有田ロータリークラブも賛同の意を表したいと思います。

さて会長の時間ですが、テーマは「教える」と「学び」です。教育って本当に難しいとつくづく思います。特に従業員さんに伝えたいという想いが強ければ強いほど感情的になりがちです。自分の経験値から自己中心的な意見を伝えているだけで、言いたい内容の半分も伝わっていないような気がしていつも自己反省しています。

最近そんな悩みから、一冊の本を読んで気づきがあったのでご紹介させていただきます。

著者は佐伯夕利子さんで、「教えないスキル」ビジャレアルに学ぶという本です。この方は、2008年9月よりサッカーチームのスペインのビジャレアルCFの育成部スタッフとなり、2009年8月からはユースAチームコーチングスタッフアシスタントをされていました。スペインリーグで活躍し異才を放つ、久保建英選手が以前所属していたチームです。(レアルマドリード→マジョルカ→ビジャレアル→ヘタフェ)2018年3月、Jリーグを運営する(公社)日本プロサッカーリーグの特任理事(非常勤)に選任され、2020年3月から(公社)日本プロサッカーリーグの常勤理事を務めていらっしゃいます。

サッカーチーム強化のために持続可能な人材育成を目指すための問題定義で、プロになるという狭き門(0.012%)に挑戦するためだけの教育だけでは無理があるということです。プロになれたとしても引退後に6割が自己破産してしまう現実があります。「人として育てる」ことの重要性から教育プログラムを根本的に見直し、人口5万人規模(海南市相当)の小さな町に強いサッカーチームを根付かせる教育論に挑戦・取組を紹介してくれています。

考え方の主語を変える。「教える」は指導者や上司が主語ですが、一方「学ぶ」は選手が主語となります。指導者はあくまでも選手の「環境」の一部であること。教えるのがうまいのは、あくまでも指導者のスキルであり、選手が学べる環境をつくることが育成術の生命線であるということです。選手が自発的に「学びたい」と思う環境づくりを大切にしています。

コーチの指導を見直すために、コーチ一人ひとりにカメラをつけて発言内容をチェックすると、「指導=駄目だし」の連発だったそうです。また選手を褒める言葉が単純で、GOODやVery goodだけで具体的な評価が出来ていないことがわかったそうです。声をかける選手にも偏りがあったなど、コーチ同士コーチングをお互いに徹底的に見直したようです。選手の行動の理由に耳を傾けること、そして色々な多様性と考えを尊重すること。互いをリスペクトしながらコミュニケーションに力を注いでいます。

人の教育は、人に頑張ってもらうのではなく、頑張ってもらえる環境づくりが大事だという考え方を本から学びました。人が自ら考え自身で動くようになるには、地道な努力が必要だと感じています。小さい町でも、小さな会社でも持続可能なパワーを生み続けるには、人を育てる教育が大切なポイントだと感じています。

幹事報告 〔井上幹事〕

1.第12回臨時理事会(2月14日)
①2月の18日の例会開催方法は対面式、YouTube式、DVD式のハイブリット方式で開催する(尚、食事は対面式の場合はお弁当を持ち帰りとし、会場内で飲食はしない)
②複合機故障による入替はミカサ事務機とリース契約をする(木協とは印刷費、使用料込みで税込1,000円/月で共同使用する
2.ハイライトよねやまが届く
3.地区大会への参加者はクラブ会長・幹事　選挙人　地区役員の限定参加者での開催
後日動画配信の予定
登録料は不要、賦課金6,000円のみ請求
4.4月18日開催予定のIMは中止
5.例会変更は後方に掲示しています

委員会報告

※親睦活動委員(川口委員長)
・お弁当の件
・お楽しみ福袋の件

卓　話

「ロータリー活動を振り返って」

会員
北畑　貴行　君

皆様こんにちは。本日卓話をさせていただきます北畑です。コロナ禍ですが、有田ロータリークラブに入会してから感じたこと、学んだことと、あとは最近の私の事もお話させていただければと思います。よろしくお願いします。深く勉強をしようと思いましたが、かまけてしまったので表面だけの卓話になりそうですがよろしくお願いします。

入会は平成30年10月でした。今でもよくわかっていませんが、用語や英語の意味が普段馴染みのない用語が分からなかったと振り返ります。SAAやフェロー、ガバナーなど。

コロナ禍になり1年以上過ぎまして、今回の卓話を考えるにあたり、過去の週報を読み返したり、友紙を見てみたり思い返してみました。様々な例会を今まで出席させていただき、また、委員会メンバーとしても活動をさせていただ

きました。初めての卓話は自己紹介をさせていただきまして、20分でネタが尽きたこともありました。

印象的なこともたくさんあります。一例を言わせていただきますと、60周年記念　式典・祝賀会に参加致しまして「まちづくりサミット」発見！あたらしいまちづくり　では地域の活動を教えていただきました。私の住む町、有田川町からもAGWのメンバーが参加しプレゼンテーションを発表されていました。その後の懇親会にも出席させていただき、楽しく過ごさせていただきました。

60年前といえば当時1959年、昭和34年、時代でいえばキューバ革命が起こり、シンガポールが独立、メートル法の制定があり、フジテレビが放送スタート、父親は当時7歳と、私にとっては全然時代背景が創造できていません。長い歴史の中で培われているクラブであると改めて思いました。

他にもドローンの卓話をされた山本さんとは、ドローン撮影をしていただいたり、ドローン講習に来ていただいたりしています。

他にもお酒の好きな私には、新年例会、家族会など懇親会が印象に残っています。皆様の家族との懇親は世代関係なく、温かく私たち家族を受け入れていただきました。

職業奉仕、国際奉仕、社会・青少年奉仕など、奉仕の精神をもって活動していくという理想は素晴らしいと思います。長年JCに参加していましたが、JCは青年会議所と名の通り、会議の練習をする場所で、入念な資料作りや、事業を実施するまでの根回しや、準備などの大切さがわかり、何より経営者としての資質を学びました。特に青年ですので、何をするのも一人前で失敗を許されると言うことで、社会に出てのふるまいなど、練習道場的なところがありました。あそこでの奉仕とは、奉仕を通じての自己成長が目的と言っても過言ではないと思います。しかし、ロータリーではもちろん自己研鑽ということも結果的にはあり得るのですが、本当の意味での他者への奉仕が重要になると思い、それが4つのテストと思っています。

ロータリーの深い奉仕の精神は私自身の経験ではなかったように思いますし、また、他の会も入っていますが、その業界や経営者親睦など、利己利益の為に活動してるのが大半ですのでロータリークラブの理想の高さには感服いたします。

特に職業奉仕は元々は互恵取引から始まったものと、友紙に書いてありました。今の様な自身の職業で社会に奉仕すると言うことはとても興味深いです。当社の様な建築の仕事であれば、何が出来るか考えてみました。まずは、建物、や構造物を残すこと。人々が使いやすい、壊れないなどなど、の提案をし、施主や使った人のこころが少しでも豊かになればそれは奉仕なのかなと思っています。

どのような会でも入っただけでは楽しさが理解できることもないと思いますし、活動を通じて理解が深まればいいかなと思っています。これだけの世代が集い活動をしていけば世代間の意見の相違、職業柄の意見の相違もあるでしょう。そしてロータリーに入っている方々だから理解していただける部分も沢山あるように感じます。今まで成しえてきた様々な経験がギュっと詰まった方々ですので勉強になることは沢山吸収したいなと思っています。

一昨年くらいからロータリーアクトや若手の入会希望者を増やそうなど、地域の若い世代をクローズアップしている部分もありますよね？私より上の世代まで入れて若手世代と思います。会員数拡大は至上命題であり、悩ましい部分ではあると思います。次期RI会長のシャカール・メータ氏は会員一人が会員を一人増強することをしようと言われています。

本当にそんなことができればすごいですが、この有田ではなかなか難しいと思いますが、若手として若い知り合いに声をかけていこうと思っています。しかしながら、現役世代で週一回お昼に参加をしていくのはなかなか大変なのは私自身が感じている部分です。会社の業務とお客さんの間を参加していくとなると、だれもが気軽に、とはいかなくなるのです。

元気があれば何でもできると有名なプロレスラーは言っていますし、私自身がもう少し時間の使い方を上手にしていけばいいのでしょうが、未熟者でしてまだまだ勉強中です。

昨今のコロナ禍での有田ロータリーの活動はZOOMやYouTubeを活用して、WEBでのリモート例会など、このような状況でも、橋爪会長はじめ役員の方々が本当に知恵を出してやってくれていて大変感謝しています。今後もできるかぎりですが、参加していきたいと思います。

閉会・点鐘

〔橋爪（誠）会長〕

日程	３月の例会プログラム
3/4(木)	会員卓話 丸山　芳孝　君
3/11(木)	クラブフォーラム
3/18(木)	休会
3/25(木)	後期IDM発表